



2025年、カンボジア都市部水道普及率100%へ！ ～日本カンボジア上下水道セミナー～



作成：上下水道局海外事業課

発行日：令和3年2月17日

北九州市は、カンボジア政府の掲げる「2025年までに都市部の全ての住民に安全な水を普及させる」という国家目標のために、関係機関と連携しながら、協力を行っています。その一環として、上下水道局では、2008年から毎年カンボジアの首都プノンペンで「日本カンボジア上下水道セミナー」（以下、セミナー）を開催しています。

セミナーでは、例年、**数百名の両国関係者が一堂に会し**、カンボジア上下水道の向上のための議論を行っています。**北九州市海外水ビジネス推進協議会**（以下、KOWBA）会員企業も数十社現地を訪問し、自社製品のPRや上下水道局が関与するプロジェクトの現地視察など、**ビジネスチャンスの拡大**を図っています。

この結果、セミナーを通して、**カンボジア政府高官との関係構築や重要な覚書の取り交わし、ビジネス案件の受注**などの多数の成果が生まれました。

13回目となる今年度のセミナーは、COVID-19の世界的感染拡大に伴い、例年のような開催は困難となりました。しかしながら、セミナーの継続の意義は大きく、今年も何とか開催しよう！と**初のオンライン開催**に挑戦しました。

1月28日のセミナー当日、プノンペンの会場と北九州会場、そして、両国の大使館や各企業をオンラインで繋ぎ、**例年と遜色ない250名を越える参加者**でセミナーを開催することができました。セミナーでは、カンボジアの水道事業者や利用者から見た水道事業の課題、KOWBA会員企業による課題解決に向けた提案などが相互に報告されました。

オンライン開催では、**複数会場からの中継や同時通訳**などの高度な運営を行い、開始直後に機材トラブルが発生することもありましたが、両国スタッフの協力により早急に復旧でき、スムーズに進行できました。

セミナーの最後には**厚生労働省とカンボジア王国工業科学技術革新省の水道分野における協力に関する覚書の締結**が発表されました。本覚書は、**北九州市のカンボジアにおける活動の実績**を踏まえたもので、**北九州市が協力の実施主体**として謳われています。今後もカンボジア全土への安全な水の普及のため、協力を進めていきます。



プノンペン会場の様子



北九州会場の様子



ウェビナーの様子



覚書締結の発表

(QRコードから詳細を見ることができます)

報告者：上下水道局 海外事業課 主任 瀬々 さおり

昨年6月から海外事業課に配属となりましたが、コロナの影響によりベトナムやミャンマー等への渡航を見合わせている状態が続いています。Web会議システムの進歩に感謝しつつも、五感とコミュニケーションによる生の情報の重要さを感じています(ただし、今回のセミナー準備に関わり、Zoomの操作レベルが急上昇しました!)。コロナ収束のあかつきには、デジタルではできない活動を現地でやりたいと思います。



PCを複数台用意したりハーサルの様子